

X線コンピュータ断層撮影装置 構成・性能要件

1	全身用高速複数検出器型CT(マルチスライスCT)装置は、以下の性能を有すること
1-1	走査ガントリについて以下の性能を有すること
1-1-1	最短ローテーションタイムは0.35秒以下であること。
1-1-2	ガントリ開口径は700mm以上であること。
1-1-3	Deep learningを用いて人体構造を学習したデータを使って、被写体向きや基準点高さを自動認識し、ポジショニングを支援する機能を有すること。
1-2	X線複数検出器について以下の性能を有すること
1-2-1	X線複数検出器の体軸方向(Z方向)の検出器列数は実装64列以上であること。
1-2-2	最小撮影スライス厚は0.625mm以下であること。
1-3	X線管球、X線発生装置について以下の性能を有すること
1-3-1	X線管球の陽極熱容量はIEC規格5MHU以上であること。
1-3-2	X線管球の冷却効率は864kHU/min以上であること。
1-4	その他機能については以下の性能を有すること
1-4-1	撮影テーブルの耐荷重は205kg以上であること
1-4-2	画像再構成速度はコーン角補正を含めた512マトリクスで70fps以上であること。
1-4-3	逐次近似応用画像再構成を搭載していること。
1-4-4	低被ばく及び高画質を実現するために、Deep Learningを使って開発されたAI画像再構成技術を有すること。
1-4-5	逐次近似法を応用した金属アーチファクト低減の画像計算が可能で、かつ逐次近似法応用再構成やAI画像再構成と併用が可能であること。
1-4-6	本体内蔵ワークステーション機能にて、MPR・MIP・VRが作成可能であり、自動的に骨を抜いて血管像を作成できること。またVR作成時は4種類以上のボリュームをフュージョン可能なアプリケーションを搭載し、血管像のCT値差をカラーマップ表示できること。
1-4-7	デュアルエナジー撮影ができ、データを解析できるソフトを有すること。本体内蔵のワークステーションで不可能の場合は別途可能なワークステーションを用意すること。
1-5	ネットワーク接続については以下対応すること
1-5-1	DICOM Storage機能を有し、接続費用及びサーバ側の接続費用を含むこと。
1-5-2	DICOM MWM機能を有し、接続費用及びサーバ側の接続費用を含むこと。
2	その他付属品については以下を有すること。
2-1	シングルの天吊り式造影剤自動注入装置を有すること(設置費用も含む)
2-2	フットスイッチおよび患者固定具を一式用意すること。
2-3	クレードルマットが血液や造影剤がしみこまない様にカバーされていること。
2-4	撮影室内患者監視用カメラ1台およびモニターを有すること(取り付け費用も含む)
2-5	操作コンソール用のデスクを1脚、椅子を1脚を有すること。
3	その他附帯情報
3-1	当院が所有するCT装置及びその他備品等の撤去・搬出・処分について、落札業者の負担にて行うこと。下取りが可能な場合は下取り金額含む入札価格とすること。
3-2	CT装置は国内メーカー製またはGE HealthCare社製であること。
3-3	CT装置の紹介パネルを1枚用意すること。